

# ひらめきとかたち

—ガラスのエスキースと完成作品—

「エスキース」とは作品を制作する時にあらかじめ作家が描く下絵のことです。そこには、作品を作るに当たってのひらめきが生のかたちで詰め込まれています。

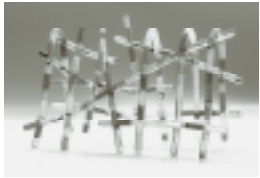
この展示会は、9人のガラス作家が描いた「エスキース」とそこから生まれた作品を同一空間に展示し、最初のひらめきがどのように生かされ、また変形していったかをたどってみようとする試みです。

それぞれの作品について、「エスキース」と見比べながら、ガラス作家たちの制作過程を追体験してみてください。



神田 正之 *Kanda Masayuki*

耐火石膏の型の中にモザイク状に作ったガラスを並べて焼成する技法で制作をしています。誰が見ても元気で楽しい気持ちになる作品の制作を心がけています。



山野 宏 *Yamano Hiroshi*

身の回りで日々感じる自然の優しさ、感性を研ぎすまし感じ、その思いを、無心にガラスを使い形にする。鑑賞者とその共感を共有する事を切に願いながら。



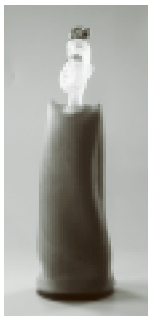
佐藤 万里子 *Sato Mariko*

長野県の山中で自然と対話しながら限られた電力を大切に、オブジェ(身の廻りにある心魅かれるモノをガラスで表現する)とうつわ(藍のうつわシリーズ)のバランスを考えて制作をしています。



中川 晃 *Nakagawa Akira*

そこにあるモノを見るのではなく、そこに居る「生命感」とつい会話してしまう。自分の「ひとがた」にそんなことを望んでいます。



藤原 信幸 *Fujiwara Nobuyuki*

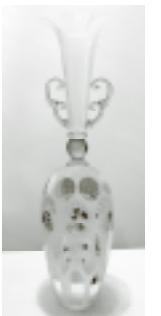
私はいつも植物の形の魅力をモチーフに、作品を制作しています。ガラス素材の持つ表現の可能性を考えながら、象徴的に形を作る事に興味を持っています。この作品はホットワークテクニックと、キルンワークテクニックを使っ

て、現在制作している取手市小文間(おもんま)近辺周辺の植物の旺盛な生命力から着想を得て制作しました。



安田 泰三 *Yasuda Taizo*

私は、常に「和」の雰囲気が感じられる作品を心がけています。「和」は不思議と人の気持ちを和ませ、落ち着かせてくれます…。見る人がホッと優しい気持ちになれるような作品をこれからも作り続けていきたいです。



藤田 潤 *Fujita Jun*

「ガラスの筒(はこ)になにをつめますか?」とよく聞かれます。「あなたの今という時間(とき)を込めて欲しい」と答えます。作家も自分なりの今という時間を込めて創ります。



海藤 博 *Kaito Hiroshi*

日々の生活の中で起こる様々な出来事やふとした発見が、作品の小さな種になることがあります。時間をかけて眺めていると、すでに私と繋がっていることに気づくのです。



小牟禮 尊人 *Komure Takahito*

ガラス素材の特徴である光りの反射・屈折・透過の現象に興味を持ちました。その3つの現象を可能な限りコントロールし、光りと目線を計算することでガラス素材を光りの彫刻として表現したいと思っています。



Fairywood Glass Museum

## 妖精の森ガラス美術館

[開館] 9:30~17:00(入館は閉館の30分前まで)

[休館日] 火曜日 / 年末年始

[入館料]

	個人	団体
大人・大学生	500円	400円
高校生	400円	300円
小学・中校生	300円	200円

●団体は20名以上  
●小学生未満無料

岡山県 苫田郡 鏡野町 上齋原 666-5

TEL 0868-44-7888 FAX 0868-44-7889

<http://kanko.town.kagamino.lg.jp/fairywood/>

